

# 第 5 回 NPO 活動交流センター運営委員会 議事録

[日付] 2007 年 3 月 23 日(金) [時刻] 13:30~14:30 [場所] いわて県民情報交流センター6階 団体活動室 2

## 出席者

\* 敬称略、五十音順

委員	委員長 委員 議長	高橋 敏彦 岩城 恭治 佐々木 昌子 佐藤 英夫 湯川 秀俊 岩城 恭治	特定非営利活動法人いわて NPO-NET サポート 特定非営利活動法人夢ネット大船渡 特定非営利活動法人いわて NPO 事業開発センター 特定非営利活動法人奥州・いわて NPO ネット 特定非営利活動法人カシオペア連携地域づくりサポーターズ 特定非営利活動法人夢ネット大船渡
NPO 活動交流センター	センター長 事務局	高井 昭平 瀬川 園美 村上 郁江 工藤 智宏 近藤 和也	
オブザーバー		稲葉 比呂子(岩手県地域振興部NPO・国際課) 菅原 智明(岩手県地域振興部NPO・国際課)	

## 開会

[NPO 活動交流センターセンター長 高井 昭平 挨拶]

## 議事

[第 1 議題] 第 4 回運営委員会での助言、指摘事項についての状況報告

②データベースへの最新情報の掲載

意見	団体から直接情報提供がなされるよう、データベースでの情報提供に対し今以上の努力を求める。
⑤各種講座の WEB 開催、DVD 化について	
追加報告	各中間支援 NPO とのテキスト等の共有は行っていく。
⑦正職員の配置時間について	
返 答	現在、検討中である(NPO・国際課)。

[第 2 議題]NPO 活動交流センターならび県民活動交流センター利用状況報告

NPO 活動交流センター利用状況報告	
報 告	事務局より報告を行った。
県民活動交流センター利用状況報告	
報 告	事務局より、懸案事項であった作業コーナー輪転機(指定管理者の管理範囲)の設定金額が 4 月より変更になること報告した。 また、管理は指定管理だが機械の案内・トナー交換等は NPO 活動交流センターのスタッフが行っているとの現状報告があった。
意見 ①	輪転機はどういう方が利用するのか。
返 答 ①	市民活動団体が主であり、特に登録団体の利用が考えられる。
意見 ②	NPO 活動交流センターで輪転機の管理をすることが最もスムーズではないか。
返 答 ②	輪転機は指定管理者の管理範囲と決まっている為、NPO 活動交流センターでの管理は行えない。(NPO・国際課)
結 論	・NPO 活動交流センター利用団体へは NPO 活動交流センターが積極的に料金変更を告知し、作業コーナーの利用促進を図る。 ・円滑な運営が出来ていると見られる。利用促進に対し、今後更なる提案を期待する。
その他	
意 見	貸レターケース、貸ロッカーの運用方法を変更しなくては、利用拡大は難しいと考える。
返 答	アンケート結果をもとに運用案を作成し、次回会議で議題とする。

[第 3 議案]NPO 活動交流センターソフト事業結果報告

報告	ソフト事業目標値(開催回数・参加人数)に対しての最終結果報告を事務局より行った。
----	--

[第 4 議案]次年度 NPO 活動交流センター方針(案)について

追加報告	現段階で県との事業調整等、話し合いが済んでいない。 現段階で、ソフト事業費の大幅カットは決定している。
------	--

意見①	人材育成にかかる費用はどのように確保するのか。またどのような形態で行うのか。
返答①	本年度も、各市町村からの要望で講義を行っている。今後、NPO 活動交流センターとして受託(実費徴収等)し講師派遣を行えるよう、県と検討を行いたい。
意見②	NPO 活動交流センタースタッフの更なるスキルアップを掲げることは大変好ましい。
意見③	NPO 学会のような事業を行ってはどうか。全国からの先進事例を集め、その情報を県内各地に発信するなどの事業を展開してはどうか。
結論	運営方針は案通りでよいと考える。 県との調整を進め、運営方針に沿った事業を進めていく。

#### [第5議案]NPO 活動交流センターに対する助言

意見①	今後どのように各団体との連携を行っていくのか。
返答①	盛岡市内はいくつものネットワークが出来ているため、NPO 活動交流センターとの連携が弱いと考えるが、他地域については、主な団体との連携は取れている。 本年度下期より行っている団体の訪問を今後強化していく予定である。
意見②	最近 NPO に対する批判が多い。NPO とはどのような組織なのかを県民に理解いただけるような活動を期待する。基本に経ち帰ることが NPO の自立につながると考える。県職員も同様に、基本に振り返る必要がある。
意見③	利用者の立場に立った提案を今後も行い、さらに利用しやすい施設運営を期待する。
意見④	NPO 活動交流センターの NPO への運営力支援ならびに情報発信に期待する。

以上

記録 瀬川園美、村上郁江